

本市の協働の取り組み⑨ ～一関市協働推進会議～

市は、市民と行政との協働を推進するため、全市的な情報共有や意見交換などを行う組織として、一関市協働推進会議（小野寺健会長）を設置しています。

●どのような人が委員になっていますか？

地域協働体や商工業、資源リサイクル、子育て支援、介護、社会教育・生涯学習、地域防災などの分野から市長が委員を委嘱しています。

●委員の任期は？

2年間です。

●どうすれば委員になれますか？

公募もしくはまちづくりスタッフバンク*に登録してください。

*まちづくりスタッフバンク 各種審議会などの委員としてまちづくりに参加する意欲のある市民の情報をあらかじめ登録し、登録者の中から委員として選任する制度

●委員の主な役割は？

- 協働に関する取り組みの推進状況を評価・検証すること
- 協働で取り組んだ事業の評価・検証、情報共有や意見交換

○協働推進の全市的課題などについての情報共有や意見交換

○協働に関する計画の見直しへの意見の取りまとめなどです。

●どのような意見交換が行われていますか？

令和5年度は、第3次一関市協働推進計画を策定するために5回の会議を開催しました。

会議では、協働を進める上での各分野の現状や課題、課題を解決するための方法などについて意見交換し、その意見を計画に盛り込むことになりました。

また、市が取り組む、協働の取り組みの基本方針に関する事業や元気な地域づくり事業の実施事業評価についても意見交換を行い、市が行う評価を「誰が見ても分かるような評価方法」に改善するよう意見が出されました。



実際の会議の様子